

[ピックアップ特集：第5次赤平市総合計画について]

6月定例会の主な議題

第二回定例会は、6月16日から4日間の日程で開催され、第5次赤平市総合計画基本構想をはじめ、15件の議案を原案通り可決し、4件の報告を受け19日閉会しました。地域活性化経済危機対策臨時交付金に関わる補正予算の追加提案もあり、特別委員会を設置し、多くの議論が交わされました。

（質問・答弁の内容は、発表順で構成され、省略・簡略化されています。）

◆公明党

（五十嵐みち）

【質問】新経済対策の当市への影響と取組みは？

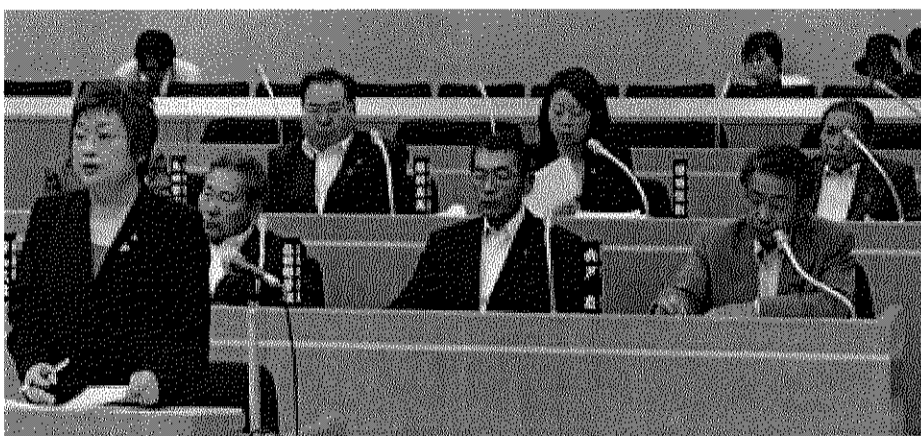
【答弁】①「女性特有のがん検診推進事業」の乳がん検診は、一定の年齢に達した女性は、無料検診となる。周知と受診率向上に努める。②「子育て応援特別手当」はH15年4月2日～18年4月1日生れの子対象に一人3万6千円支給。③地域活性化交付金は約1億8千4百万円が赤平市へ配分される。雇用、地域経済支援対策に配慮する。

【質問】「国道平岸方面の歩道整備」について

【答弁】滝川道路事務所と整備に関する協議をしており早期に着手出来るように努める。

【質問】消防団員報酬の団員と班長が交付税算入額より下回っていることについて

【答弁】団員の処遇見直しは重要と考える。近隣市の報酬の推移を勘案し検討して参りたい。



◆民主クラブ

（谷田部芳征）

【質問】財政健全化に向けての今後の見通しについて

【答弁】20年度決算の見込みでは、連結実質赤字比率13.23%となり、大きく改善された。来年度に向けて職員の複数の新採用や給与20%カットの回復に向け検討したい。雇用対策には国の各種財政支

援策を有効に活用し、地元経済の活性化に努めたい。

【質問】ごみの不法投棄対策について

【答弁】不法投棄に対する啓蒙活動や予防策に一層強化を図る。監視カメラの設置には赤歌署と協議検討したい。

【質問】大型補正農業予算の取り組みについて

【答弁】水田の有効利用や自給率の向上、産地確立交付金等の対策を主としての活用を考え担い手が効率的な経営のできる事業の取り組みに努めたい。

◆知新会

（北市 勲）

【質問】第5次赤平市総合計画について

【答弁】産業振興・住環境整備及び少子化対策を重点に定住政策や福祉政策を優先的に絡ませた計画を作成し実施する。

【質問】エルム高原の将来展望について

【答弁】市民の憩いの場として既存施設を拡大し活用し安定した経営の努力をし、施設の充実を図り近隣自治体と連携し観光ルートの開発に努める。

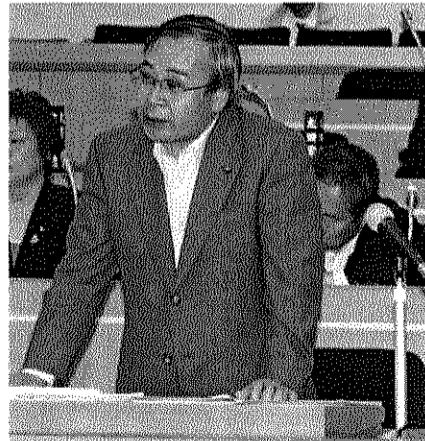
【質問】学校統合について

【答弁】人口動向や校舎の耐震化も含め学校教育条件整備審議会を立ち上げて協議する。

【質問】庁舎トイレ改修について

【答弁】国からの補正で財源が確保出来る見通しとなり、今年度中に各階に男女それぞれ1箇所づつ洋式トイレに改修したい。

【答弁】市役所内に未収金対策本部を立上げ、市民の皆さんの協力もあり、徐々にその成果は上がってきている。



◆新政クラブ

（植村 真美）

【質問】リフォーム助成金などの地元企業応援制度の設置について

【答弁】商工会議所、産企協赤平支部、建設業協会並びに技能協会など関係機関と連携し、協議していく。

【質問】まちに人を呼ぶ対策について

【答弁】何とかまちを活性化したい。皆さんで意見が出し合える場が必要と考えている。

【質問】農産品のPRと農業者の定住について

【答弁】企業や幅広い層に、農業に関心を高めるPRや研修会等を行い、農業からの地域雇用や定住を進めたい。農商工との連携を図り、新たな農産品・加工品を開拓し、農業生産の活性化に努め、関係機関と連携、検討していく。

【質問】町内会館の運営について

【答弁】利用方法は、地域の特性とアイデアを生かした活用を願う。会館運営の維持管

理については、将来運営が困難になった場合、地域の実情を十分に把握し、適切な対応を検討する。

◆共産党

（安戸 忠）

【質問】エコバレー問題について
早期撤退のゴミ焼却施設「覚書」15年間の社会的責任について

【答弁】三衛生組合が継続要望、6月25日「日立」本社から返答がきてから議論となる。

【質問】雇用、地域経済について
中小企業、正職、派遣切りなどの労働問題対策相談室設置について

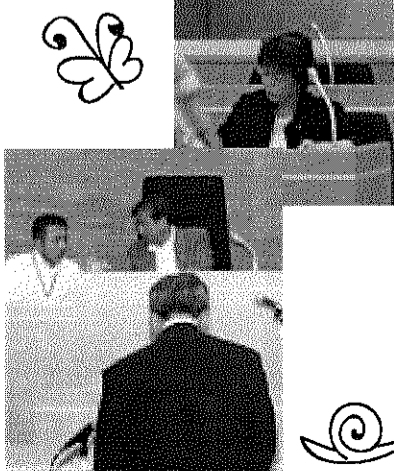
【答弁】商工会議所、ハローワーク等連携して取り組みたい。

【質問】非核平和都市宣言している都市として被爆写真展等の取り組みについて

【答弁】検討してまいりたい。

【質問】農業問題と農地法改正について

【答弁】農地法の改正が行われても、地域農業発展のため、農業者が安心して農業を営むことのできるよう、さまざまな方策を見出し、助成政策を、積極的に検討する。



総合計画とは？

→今の課題や明るく元気な赤平の未来づくりを市全体で考えて、取り組んでいくための基本的なものです。第5次総合計画は、21年度から平成30年度までの内容です。

どう実施されるの？



→基本構想・計画(第5次赤平市総合計画)と、市民会議や各種懇談会などで出された皆様の意見を基に5年間の実施計画が作られます。計画を具体化していくためには、さらに皆様のご意見、ご協力が大切になってきます。



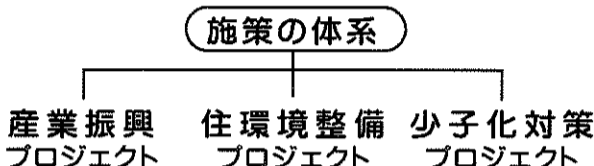
第5次赤平市総合計画は、市役所、茂尻支所、東公民館、HPで閲覧できます！

どんな構想なの？

<基本構想>

- 第1節 すこやかで安心して暮らせる社会をつくりましょう
- 第2節 大地に根ざしたたくましい産業をつくりましょう
- 第3節 生きる力を育む生涯学習社会をつくりましょう
- 第4節 ゆとりと潤いのある快適な生活を支えましょう
- 第5節 人と人とが語り合い行動できる地域づくりを進めよう

<重点プロジェクト>



日頃から みんなで意識しよう！



議会の動き

<5月>

- 5/12 社会経済常任委員会
 - 赤平総合病院の経理状況について●福祉灯油購入費助成事業実績報告など
- 5/14 全員協議会
- 5/14 総務文教常任委員会
 - 遊休教育施設の活用●テニスコートとパークゴルフ場についてなど
- 5/19 議会運営委員会
- 5/22 第1回臨時会
- 5/28 社会経済常任委員会
 - 公営住宅における新たな入居資格等についてなど

<6月>

- 6/1・9 総合計画基本構想審査特別委員会
- 6/9 総務文教常任委員会
- 6/16 第2回定例会(～19日)
- 6/16 議会運営委員会
- 6/17 総務文教常任委員会
 - 赤平市生活安全条例の一部改正●市税にかかる聴覚障害関係の経過報告など
- 6/17 社会経済常任委員会
 - 赤平市手数料徴収条例の一部改正●聴覚障害偽装による障害者手帳の不正取得に係る経過報告について●第38回火まつりについてなど
- 6/19 予算審査特別委員会

・編・集・後・記・

みなさん、こんにちは。暑い季節到来ですね☆熱中症や日射病も多くなる季節ですね。水分調整や帽子対策など日頃から気を付けてください。そして、お祭りの季節でもあります。道中の事故やスリなどにも気を付けて、楽しい夏の思い出をたくさん作ってくださいね^v^☆

かわら版編集委員

宍戸・谷田部・五十嵐・太田・植村

議会 Note Book

④

農業委員会では

農業委員(議会選出)
谷田部 芳征



農業委員会は、農地と農業者を守るために法律で定められた組織であります。農業委員会活動が、食糧生産の現場を守ることにつながり、よりよい食糧供給は、消費者を守ることであります。

昨年7月に、農業委員選挙が行われ、7名の委員が選出され、また市議会及び農業に携わる各団体より4名の委員が推薦され、11名で構成されております。

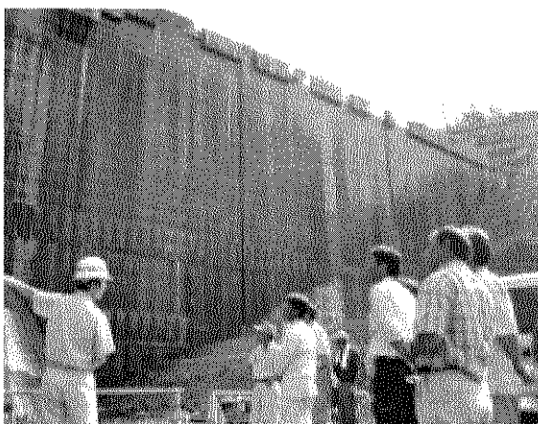
平成20年度の赤平市農業委員会総会では、農地の有効な利用を進めるための、農業経営基盤強化促進法による貸貸借が28件、売買が3件の計31件、また農地法第3条による所有権利の設定許可が5件、農地法第5条による農地転用許可の1件が審議され、また、赤平市の農業政策に対しての要請(建議)も行いました。

その他の活動として、農作物の作況調査、農地パトロール、農業施設の視察などを行い、研さんしているところであります。

現在、農地法が改正され、農地の有効な利用と農業への新規参入など変わり行く農業形態を見守り、農地保有の農業者の現状を見据えながら、農業振興のため、選出委員として助言、提案などを行うところであります。



作況調査・農地パトロール



徳富ダム視察